コートジボワール国月報（２０１６年１２月）

|  |
| --- |
| 主な出来事  【内政】  ●１８日、国民議会選挙が実施された。全体として投票は順調かつ平穏裡に実施された。  ●２０日夜、バカヨコ独立選挙委員会（ＣＥＩ）委員長は、国民議会選挙の結果を発表した。投票率は３４．１０％、結果が判明した２５４議席中１６７議席（６５．７５％）を与党ウフエ派連合（ＲＨＤＰ）が獲得した。  【外政】  ●１７日、ウワタラ大統領は、アブジャ（ナイジェリア）で開催されたＥＣＯＷＡＳ首脳会議に出席した。  【経済】  ●１２日、ＩＭＦは２つの融資協定を承認した。２０１７～２０１９年の間に、約６億５，８９０万ドルで、包括的な成長及び貧困削減を目指す。  ●１５日、フランス開発庁（ＡＦＤ）理事会は、コートジボワールに対するエネルギー部門の協力を承認した。１．２億ユーロの融資及びＥＵからの３，４００万ユーロの補助金からなる。  ●１６日、アフリカ開発銀行はアビジャン都市交通改善のために５，０５０億ＣＦＡフラン（約１，０１０億円）の融資に合意した。  【対日関係】  ●５日、川村大使、カンビレ法務大臣出席の下、司法コールセンターの開所式が行われた。  ●７日、日本大使公邸にて天皇誕生日祝賀レセプションが開催され、アモン＝タノー大統領府官房長（大臣）兼外務大臣代理をはじめとする政府要人等出席の下、両国の友好関係が再確認された。  ●９日、ウワタラ大統領は、アビジャンの道路舗装工事の着工式を行った。コートジボワール、アフリカ開発銀行、世界銀行、世界環境基金、ＪＩＣＡが資金を提供している。 |

【内政】

・１４日、地デジ・テレビサービスの提供を許可された放送局が発表された。Life TV（Voodooコミュニケーション社）、Tv7（Optimum media社）、Sarano社（ラジオ局ノルタルジー・アビジャンを所有）、コートジボワール視聴覚会社（Ａ＋チャンネルによるエンターテインメント・チャンネル）の４放送局。（フラテルニテ・マタン紙）

・１８日、国民議会選挙が実施された。全体として投票は順調かつ平穏裡に実施された。（フラテルニテ・マタン紙他）

・２０日夜、バカヨコ独立選挙委員会（ＣＥＩ）委員長は、国民議会選挙の結果を発表した。投票率は３４．１０％、発表当時結果が判明していた２５４議席（２５５議席中）のうち、１６７議席（６５．７５％）を与党ウフエ派連合（ＲＨＤＰ）が、７５議席（２９．５３％）を無所属候補が獲得した。ＵＤＰＣＩ（マブリ前外相が党首）は６議席、ＵＰＣＩ（ニャミアン前住宅相が党首）は３議席、ＦＰＩ（アフィ党首）は３議席に留まった。（フラテルニテ・マタン紙他）

【外政】

・２日、アモン＝タノー外務大臣代理（大臣）は、アビジャン滞在中のバリー・ブルキナファソ外務大臣と会談した。バリー外務大臣は、コートジボワール・ブルキナファソ友好協力協定（ＴＡＣ）等、二国間の共通の関心事項に関し、カボレ・ブルキナファソ大統領からウワタラ大統領へのメッセージを伝えた。（フラテルニテ・マタン紙）

・１３日、ウワタラ大統領は、サル・セネガル大統領の特使としてコートジボワールを訪問したタル・セネガル新興計画フォローアップ担当大統領付大臣と会談した。会談後、内容に関する発表はなされなかったが、タル大臣は、ウワタラ大統領との意見交換は大変満足のものであったと述べた。（フラテルニテ・マタン紙）

・１７日、ウワタラ大統領は、アブジャ（ナイジェリア）で開催されたＥＣＯＷＡＳ首脳会議に出席した。

【経済】

・３日、ウワタラ大統領はダンカン首相等と共にアニビレクル（東部）を訪れ、舗装道路の竣工式を行った。ＥＵによる３４０億ＣＦＡフラン（約６８億円）の融資と、コートジボワールの７０億ＣＦＡフラン（約１４億円）の負担で道路の修復工事を実施したもの。（フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙）

・７日の閣議で、コーヒー豆買い取り価格を、前年の１キロあたり６７０ＣＦＡフラン（約１３４円）から値上げし、２０１６－２０１７期は同７５０ＣＦＡフラン（約１５０円）とすること、また、２０２２年の生産高目標を２０万トンとすること（過去１０年間は１０．８万トン）が決定された。（フラテルニテ・マタン紙、ル・パトリオット紙）

・８日、ウワタラ大統領は、ブンディアリからマリ国境に続く道路の竣工式を行った。北部バグエ地域に２車線１２４ｋｍの道路を建設したことにより、マリとの貿易促進効果が期待される。総工費３４４億ＣＦＡフラン（約６９億円）は西アフリカ開発銀行（ＢＯＡＤ）、イスラム開発銀行（ＩＤＢ）及びコートジボワール政府が負担した。（フラテルニテ・マタン紙、ル・パトリオット紙）

・同８日、コートジボワールのＳＥＩＦＡ社とモロッコのＳＥＦＩＴＡグループは、コートジボワールの軍・警察等の制服・その他衣料を製造する工場建設に関するパートナーシップ協定を締結した。７億ＣＦＡフラン（約１．４億円）が投資され、１００人以上の雇用を創出する同工場は、４月から操業開始を予定している。（フラテルニテ・マタン紙、ル・パトリオット紙）

・９日、国際開発協会（ＩＤＡ、世銀グループ）理事会は、都市部飲料水供給強化計画（PREMU）に３００億ＣＦＡフラン（約６０億円）の融資を承認した。（フラテルニテ・マタン紙、ル・パトリオット紙）

・１１日、ダンカン首相とトゥンガラ石油・エネルギー大臣は、ヨプゴン・アジト変電所の操業開始式に出席した。本件はＢＯＡＤ及び中国の融資とコートジボワールの支出からなる３００億ＣＦＡフラン（約６０億円）で建設され、アビジャンの電力供給強化を目的とする。（フラテルニテ・マタン紙）

・１２日、ＩＭＦはコートジボワールへの拡大信用ファシリティ（ＥＣＦ）と拡大信用供与措置（ＥＦＦ）の２つの協定を承認した。２０１７～２０１９年の間に、約６億５，８９０万ドルで国際収支の持続可能性を実現し、インフラや社会福祉事業に投資し、包括的な成長及び貧困削減を目指す。（フラテルニテ・マタン紙）

・１３日、リ韓国大使出席の下、韓国国際協力団（ＫＯＩＣＡ）による保健・公衆衛生省への機材引渡式が公衆衛生研究所で執り行われた。２億１，１００万CＦＡフラン（約４，２２０万円）相当の車両や機材が供与された。（ランテール紙）

・１５日、フランス開発庁（ＡＦＤ）理事会は、コートジボワールのエネルギー部門への協力を承認した。１億２，０００万ユーロの融資及びＥＵからの３，４００万ユーロの補助金からなる。（フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙）

・１６日、アフリカ開発銀行はアビジャン都市交通改善のために５，０５０億ＣＦＡフラン（約１，０１０億円）の融資に合意した。道路整備（８７．９ｋｍ）、第４の橋建設（アジャメ・ヨプゴン・プラトー地区を結ぶ１．４ｋｍ）、インターチェンジ６件、交差点の信号機修理（８９箇所）等を行う。（フラテルニテ・マタン紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙）

・同１６日、コートジボワールのStarenergie社と仏・モロッコのVinci Engergie-CI/Cegelec企業連合は、ソンゴン発電所建設に関連したインフラ建設のため、２８０億ＣＦＡフラン（約５６億円）の契約を締結した。（フラテルニテ・マタン紙）

【対日関係】

・５日、川村大使、カンビレ法務大臣出席の下、司法コールセンターの開所式が行われた。同センターは内戦により失われた司法インフラ及び人材育成の立て直しを支援する目的で設立され、法務省民刑事局が、一般市民からの法律相談を受け付ける。（フラテルニテ・マタン紙）

・７日、日本大使公邸にて天皇誕生日祝賀レセプションが開催され、アモン＝タノー大統領府官房長（大臣）兼外務大臣代理をはじめとする政府要人等出席の下、両国の友好関係が再確認された。（ランテール紙、ノートル・ヴォワ紙）

・９日、ウワタラ大統領は、アビジャンの道路舗装工事の起工式を行った。３年間で７００億ＣＦＡフラン（約１４０億円）のプロジェクトの第１フェーズとして、道路インフラの悪化が顕著なアボボ、ヨプゴン、クマシ各地区を対象とする。アビジャン地区インフラ改善計画として、コートジボワール、アフリカ開発銀行、世界銀行、世界環境基金、ＪＩＣＡが資金を提供している。（フラテルニテ・マタン紙、ル・パトリオット紙）